

# (社)日本動物園水族館協会における東日本大震災被災園館への対応

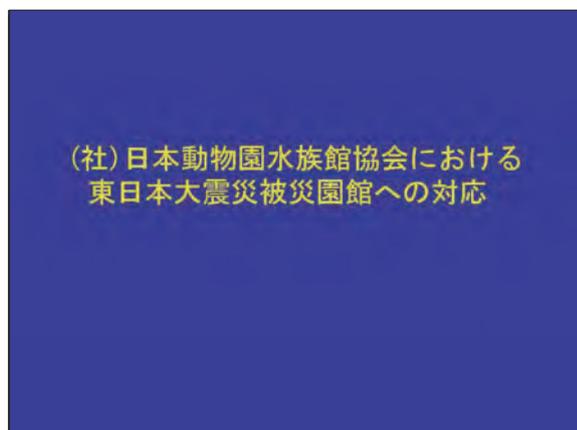
## The Response by JAZA to Assist Zoos and Aquariums Impacted by the Great East Japan Earthquake

社団法人 日本動物園水族館協会 副会長／鴨川シーワールド 館長・荒井 一利  
 Kazutoshi ARAI, Vice Chair, Japanese Association of Zoos and Aquariums (JAZA)  
 Director, Kamogawa Sea World

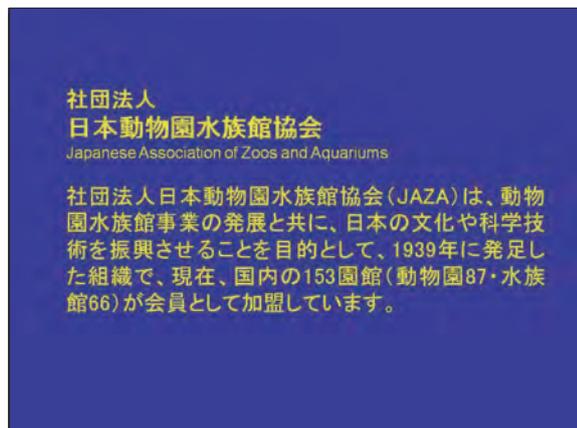


○荒井一利

皆さん、こんにちは。(社)日本動物園水族館協会の荒井と申します。(社)日本動物園水族館協会における東日本大震災被災園館への対応を御報告させていただきます。



【スライド 1】



【スライド 2】

(社)日本動物園水族館協会は、英語で Japanese Association of Zoos and Aquariums と言いまして、これを略して一般的に J A Z A と呼ばれています。J A Z A は動物園水族館事業の発展とともに、日本の文化や科学技術を振興させることを目的として 1939 年に発足した組織で、現在国内の 153 園館、動物園 87 園、水族館 66 館が会員として加盟しています。【スライド 2】

3 月 11 日に東日本大震災が発生し、J A Z A 事務局が中心になり、電話やメールで被害情報の収集を開始



【スライド 3】



【スライド 4】

し、程度の差はありますが、13 園館の被災を確認しました。幸いに入園者や職員の方々に人的な被害はなく、ほとんどが地震による被害で、津波による被害は水族館の 2 館だけでした。一般に動物園の施設は大変堅牢なため、これまでも地震による施設の崩壊などは極めてまれでしたが、今回も一部の崩壊にとどまり、施設自体が大きく崩落するようなことはありませんでした。動物園における主な被害は、一部で送水管の破損がありましたが、断水による水不足や、停電に伴う暖房停止、物流の遮断による飼料の入手問題でした。一方、水族館では、過去にも地震による大きな被害が確認されており、阪神・淡路大震災での神戸市立須磨海浜水族園の被害例は記憶に新しいところです。このときは建物



【スライド 5】



【スライド 6】



【スライド 7】



【スライド 8】

や水槽本体の破損は軽度でしたが、配管の破損や停電、断水の影響で水生生物の約半数が死亡いたしました。今回、マリニピア松島水族館（以下、松島水族館）とふくしま海洋科学館は、いずれも建物や水槽自体の被害はさほど大きくありませんでしたが、津波による影響で機械室や電気室が水没をしました。松島水族館は幸いに生物への被害は軽度でしたが、ふくしま海洋科学館では最大 4.2 メートルの津波が押し寄せ、大型動物を除き、90%の水生生物が死亡しました。水族館は動物園よりも、より電気や水の供給に依存している影響で被害が大きくなる傾向があります。そのため、水族館には非常用の自家発電設備があり、松島水族館ではそれが有効でしたが、ふくしま海洋科学館ではある程度の効果はありましたが、全面的なカバーはできませんでした。【スライド 3-8】

**震災対応経過 1**

H23.3.11	東日本大震災発生、被害情報収集開始
3.12	Facebook 利用開始
3.13	被災動物園水族館から飼料の輸送又は動物の緊急避難要請
3.14	被災動物園水族館への見舞金募集開始
3.16	ふくしま海洋科学館から被災動物の移送（～4月1日）
3.18	被災動物園水族館へ飼料の輸送（～4月4日）
3.22	かみね動物園が営業再開
4.7	避難中のゴマファザラン「クララ」出産
4.20-27	第1回・2回東日本大震災被災動物園水族館会議開催

【スライド 9】

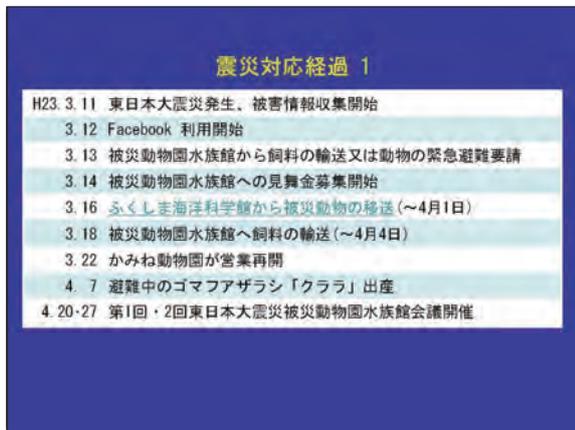


【スライド 10】

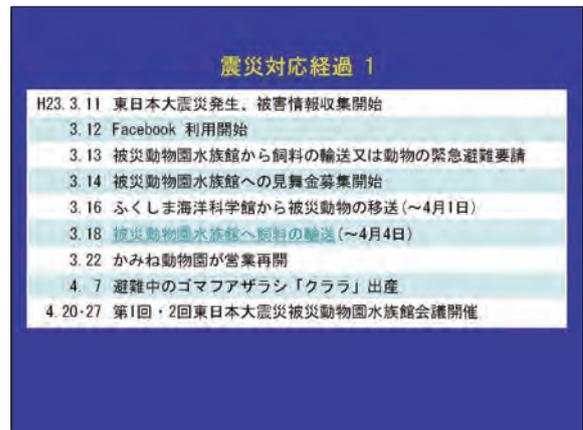
震災直後より、東京都にある J A Z A の事務局に情報が集約するようにしました。J A Z A では一般に公開しているホームページと、ID を登録した会員職員だけが閲覧することができる会員用ホームページがあり、情報収集および提供には会員用ホームページが有効でした。また、各園館長を対象としたメーリングリストも整備されていて、事務局からの発信により広く情報を共有することができました。しかし、震災発生

とともにJAZAのサーバーも被害を受け、ホームページがダウンしましたので、3月12日よりフェイスブックによる情報公開を開始しました。幸いにホームページもすぐに復活しまして、3月13日には被災園館からの飼料の緊急輸送要請や、動物の避難要請を受け、具体的な検討と準備を開始しました。JAZA以外の情報発信には、主として公開ホームページとフェイスブックを使用し、被害状況と対応、見舞金の依頼を中心に和文と英文にて迅速に行うように努めました。あわせて、3月14日からJAZA加盟園館の施設内で見舞金の募集を開始しました。【スライド9】【スライド10】

3月14日に環境省より希少野生動物の緊急移動許可を得て、3月16日から4月1日にかけて、ふくしま海洋科学館から動物の移送を行いました。トド、セイウチ、ゴマファザラシ、ユーラシアカワウソの哺乳類4種9頭、ウミガラス、エトピリカの海鳥2種13羽、オオサンショウウオ、ミドリニシキヘビの両生爬虫類2種2个体、海水魚、淡水魚、無脊椎動物29種244个体を7園館に移動しました。初期の移動に関しましては、ふくしま海洋科学館からの細かな連絡が困難でしたので、受け入れ園館が主導して事務局と連絡を密にとり、実施しました。【スライド11-13】



【スライド11】



【スライド14】



【スライド12】



【スライド13】

飼料の輸送は3月18日から4月4日の間に6園館に対して実施しました。その内訳は固形飼料、肉、魚、野菜、果物などで、34施設から提供された物資を担当園館に1度集めた後、緊急車両指定を取得したトラックによる陸路輸送をはじめとして、空路や水路により、園館の職員と協力業者により輸送しました。このうち、札幌市円山動物園が実施した札幌から羽田までの野菜類の航空機輸送は、日本航空が無償で行って下さいました。【スライド14-20】





【スライド 15】



【スライド 19】



【スライド 16】



【スライド 20】



【スライド 17】

**震災対応経過 1**

- H23. 3. 11 東日本大震災発生、被害情報収集開始
- 3. 12 Facebook 利用開始
- 3. 13 被災動物園水族館から飼料の輸送又は動物の緊急避難要請
- 3. 14 被災動物園水族館への見舞金募集開始
- 3. 16 ふくしま海洋科学館から被災動物の移送(～4月1日)
- 3. 18 被災動物園水族館へ飼料の輸送(～4月4日)
- 3. 22 かみね動物園が営業再開
- 4. 7 避難中のユマファザラシ「クララ」出産
- 4. 20-27 第1回・2回東日本大震災被災動物園水族館会議開催

【スライド 21】



【スライド 18】



【スライド 22】



【スライド 23】

3月22日には日立市かみね動物園が営業を再開し、4月7日にふくしま海洋科学館から鴨川シーワールドに避難をしておりましたゴマファザラシが無事出産をしました。4月20日、27日に、第1回、第2回東日本大震災被災動物園水族館会議を、被災園館の仙台市八木山動物公園と日立市かみね動物園で開催しました。8園館が参加し、被害状況の確認、復旧・復興についての構想、JAZAへの要望など意見交換を行うとともに被災状況の視察を行いました。【スライド 21-23】

震災対応経過 1	
H23. 3. 11	東日本大震災発生、被害情報収集開始
3. 12	Facebook 利用開始
3. 13	被災動物園水族館から飼料の輸送又は動物の緊急避難要請
3. 14	被災動物園水族館への見舞金募集開始
3. 16	ふくしま海洋科学館から被災動物の移送(～4月1日)
3. 18	被災動物園水族館へ飼料の輸送(～4月4日)
3. 22	かみね動物園が営業再開
4. 7	避難中のゴマファザラシ「クララ」出産
4. 20・27	第1回・2回東日本大震災被災動物園水族館会議開催

【スライド 24】



【スライド 25】

3名の外部有識者の方に委員をお願いし、それにJAZAの役員が加わり、会長を委員長とする見舞金配分委員会を設置し、6月22、29日、7月27日に3回の

会議を開催しました。そこで各園館の被害状況および要望の確認をし、その結果をもとに、見舞金の配分対象や基準、金額などの討議を行いました。6月末を目標に被災園館支援の見舞金募金を呼びかけたところ、6月末現在、約4,900万円に達し、7月に入っても見舞金が届けられたので、募集を継続することにしました。

【スライド 24】 【スライド 25】

4月23日には仙台市八木山動物公園と松島水族館が営業を再開しました。4月末から6月末にかけて、松島水族館への魚類などの提供支援を行い、5月末から6月末にかけてふくしま海洋科学館への復旧作業の応援を各園館が行いました。6月9日から7月上旬にか

震災対応経過 2	
H23. 4. 23	八木山動物公園とマリニピア松島水族館が営業再開
4 末	マリニピア松島水族館への魚類等の提供支援(～6月末)
5 末	ふくしま海洋科学館への復旧作業応援(～6月末)
6. 9	ふくしま海洋科学館への生物収集協力および被災動物の捕結(～7月上旬)
6. 22	第1回見舞金配分委員会開催
6. 29	第2回見舞金配分委員会開催
7. 15	ふくしま海洋科学館が営業再開
7. 27	第3回見舞金配分委員会開催
8. 8-9	被災動物園水族館へ見舞金を贈呈(第1回)
10. 4	WAZA年次総会で山本会長報告
12. 20～26	被災動物園水族館へ見舞金を贈呈(第2回)
12. 28	現在見舞金受付金額 56,930,483円

【スライド 26】



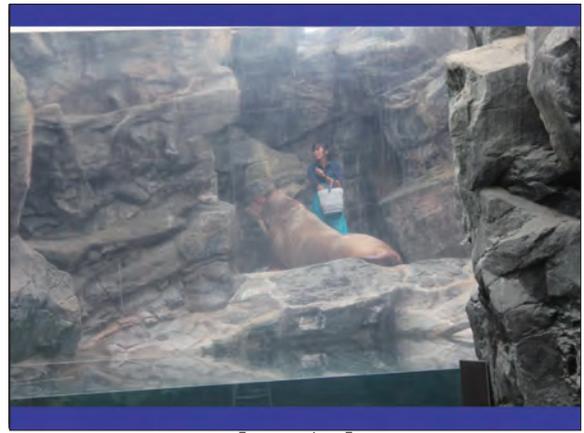
【スライド 27】



【スライド 28】



【スライド 29】



【スライド 33】



【スライド 30】

**震災対応経過 2**

H23. 4. 23	八木山動物公園とマリニピア松島水族館が営業再開
4 末	マリニピア松島水族館への魚類等の提供支援(～6月末)
5 末	ふくしま海洋科学館への復旧作業応援(～6月末)
6. 9	ふくしま海洋科学館への生物収集協力および被災動物の帰館(～7月上旬)
6. 22	第1回見舞金配分委員会開催
6. 29	第2回見舞金配分委員会開催
7. 15	ふくしま海洋科学館が営業再開
7. 27	第3回見舞金配分委員会開催
8. 8-9	被災動物園水族館へ見舞金を贈呈(第1回)
10. 4	WAZA年次総会で山本会長報告
12. 20～26	被災動物園水族館へ見舞金を贈呈(第2回)
12. 28	現在見舞金受付金額 56,930,483円

【スライド 34】



【スライド 31】



【スライド 35】



【スライド 32】



【スライド 36】

けてふくしま海洋科学館への生物の収集協力と、避難していた動物たちの帰還を行いました。鴨川シーワールドに避難していたセイウチ2頭、避難中に生まれたゴマフアザラシの子どもと母親も無事、もどることができました。子どもは「きぼう」と命名され、復興のシンボルとなりました。7月15日にはふくしま海洋科学館が営業を再開し、がれきでつくった特設のステージで、再開のセレモニーを行い、ゴマフアザラシの子どもの愛称発表を行いました。【スライド 26-36】

7月27日に第3回見舞金配分委員会を開催し、見舞金の配分方法を決定しました。集まった見舞金から初

**震災対応経過 2**

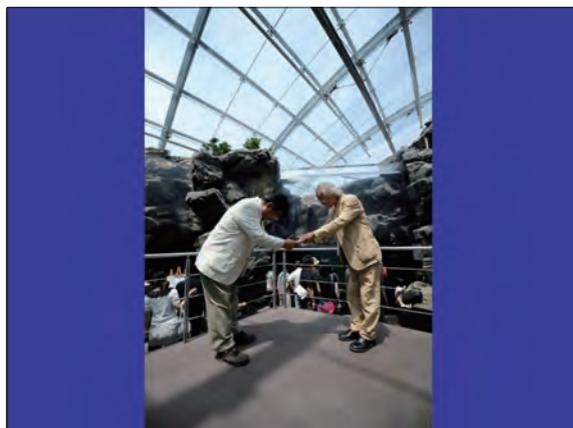
H23. 4. 23	八木山動物公園とマリンピア松島水族館が営業再開
4 末	マリンピア松島水族館への魚類等の提供支援 (~6月末)
5 末	ふくしま海洋科学館への復旧作業応援 (~6月末)
6. 9	ふくしま海洋科学館への生物収集協力および被災動物の帰館 (~7月上旬)
6. 22	第1回見舞金配分委員会開催
6. 29	第2回見舞金配分委員会開催
7. 15	ふくしま海洋科学館が営業再開
7. 27	第3回見舞金配分委員会開催
8. 8-9	被災動物園水族館へ見舞金を贈呈 (第1回)
10. 4	WAZA年次総会で山本会長報告
12. 20~26	被災動物園水族館へ見舞金を贈呈 (第2回)
12. 28	現在見舞金受付金額 56,930,483円

【スライド 37】

**見舞金配分**

被災園館名	用途予定
1. 八木山動物公園	サル山改築費用
2. かみね動物園	小獣舎等復旧費用
3. マリンピア松島水族館	ペンギン水槽空調工事費用
4. ふくしま海洋科学館	タッチプール復旧費用

【スライド 38】



【スライド 39】

期の飼料輸送や、動物の緊急避難に要した費用のうち請求のあったものを引き、残った額を被災園館からの被災申告額に応じて案分し、さらに各園館の事情などを考慮に入れ、最終的に4園館に見舞金を贈呈することになりました。4園館はそれぞれの特徴ある動物施設の復旧に活用する計画を立てています。これらの見舞金配分報告の詳細については、J A Z A加盟園館長に報告するとともに、協会ホームページやフェイスブックなどで公表をしました。8月8日と9日に会長が自ら4園館に向き、見舞金の贈呈を行いました。見舞金は現在も届けられており、12月18日現在、約5,700万円に達しています。見舞金は3カ月ごとに集計し、8月と同様の方法で、12月20日から26日に第2回目の贈呈を行っています。【スライド 37-39】

**震災対応経過 2**

H23. 4. 23	八木山動物公園とマリンピア松島水族館が営業再開
4 末	マリンピア松島水族館への魚類等の提供支援 (~6月末)
5 末	ふくしま海洋科学館への復旧作業応援 (~6月末)
6. 9	ふくしま海洋科学館への生物収集協力および被災動物の帰館 (~7月上旬)
6. 22	第1回見舞金配分委員会開催
6. 29	第2回見舞金配分委員会開催
7. 15	ふくしま海洋科学館が営業再開
7. 27	第3回見舞金配分委員会開催
8. 8-9	被災動物園水族館へ見舞金を贈呈 (第1回)
10. 4	WAZA年次総会で山本会長報告
12. 20~26	被災動物園水族館へ見舞金を贈呈 (第2回)
12. 28	現在見舞金受付金額 56,930,483円

【スライド 40】



【スライド 41】

10月にチェコのプラハで、WAZA（世界動物園水族館協会）の年次総会があり、J A Z Aの山本会長が出席し、震災被害と復興状況を報告するとともに、見舞金などで御協力をいただきましたので、そのお礼を述べました。

J A Z Aの震災対応の経過について御紹介しましたが、改めて御協力御支援をいただきました多くの団体や個人の方々に、(社)日本動物園水族館協会を代表い

たしまして心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。【スライド40】【スライド41】

